

## 関西大学におけるOCWの 現状と課題

関西大学教育開発支援センター ICT活用プロジェクト  
冬木 正彦 久保田 賢一 田中俊也  
杉本仁嗣 山口紀奈 岩崎 千晶

## 構成

- 背景
- 教えと学びのショーケース
- コンテンツ公開の現状
- 活用と課題

### 教えと学びのショーケース

**教えのショーケース**

- 教え方要約表
- 教育実践事例集

**学びのショーケース**

- 学びのショーケース

**交流プラザ**

- コンテンツ&CEAS
- コンテンツ共有/再利用

**教育実践フォーラム**

- 授業改善の広場

**現代GP成果報告書**

### 平成16年度現代GP取組「進化するe-Learningの展開 ～授業と学習の統合的支援および教授法と学習コンテンツの共有化～」

授業支援型e-LearningシステムCEASを積極的に活用した教育実践により、高等教育が直面する諸問題を解決し、多くの大学で利用可能な汎用教育支援モデルを構築する

取組実施内容

- ① CEAS活用  
IT活用する教育実践促進
- ② コンテンツ蓄積・制作  
2段階アプローチ  
コース経営パターン
- ③ コンテンツとパターン公開
- ④ 計画・実践・評価  
授業評価との連動
- ⑤ CEASの無償配布

## 授業支援型e-LearningシステムCEAS(シーズ)

Web-Based Coordinated Education Activation System

LMS (Learning Management System)、CMS (Course MS)  
 'e-Learning'のプラットフォーム  
 学習コンテンツ、授業データなどの管理  
 ブラウザから利用するWebアプリケーション

のーつ

**授業資料(スライド、文献)掲載・閲覧、予習課題  
 出席確認(PC教室、携帯電話)、小テスト実施  
 レポート課題配布・回収、アンケート実施  
 採点、履修管理  
 コミュニケーションツール  
 お知らせ、FAQ、電子掲示板、チャット  
 eラーニングコンテンツの掲載・閲覧**

商用: Blackboard, WebCT, Campusmate/CourseNavig, It's Class  
**オープンソース: Moodle, Sakai, CEAS, exCampus, CFive, Su!2**

5

## CEASの目的と特徴

- 毎回の「授業」の実施を軸とした担任者、学生の教育/学習に含まれる諸活動を統合的に支援

### 授業支援型

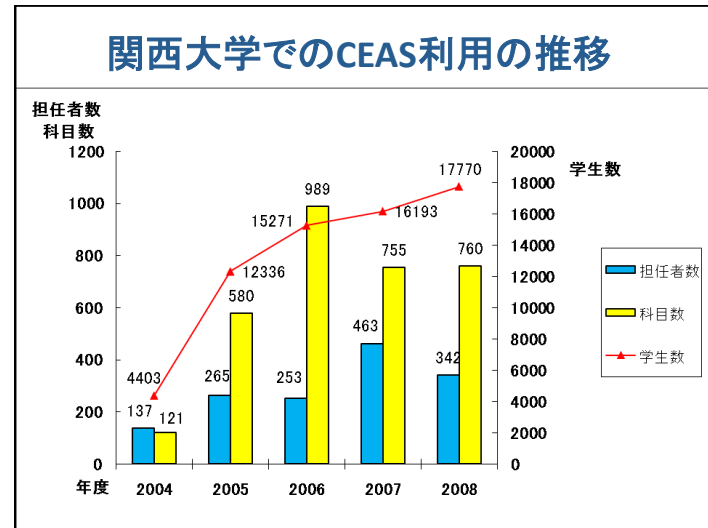
### CEASのコンセプト

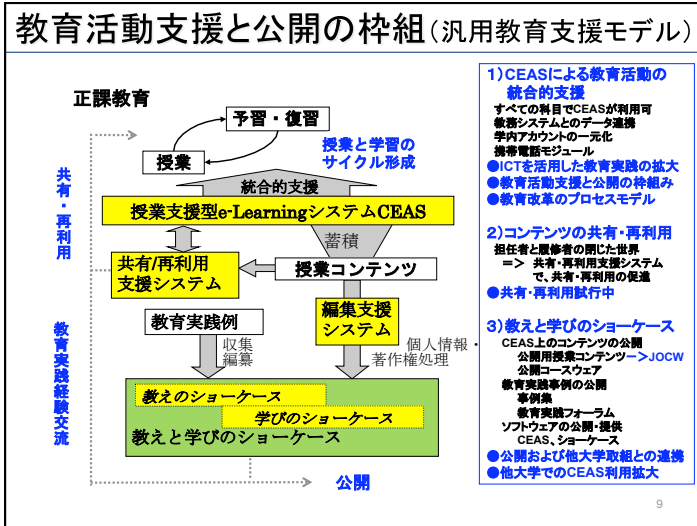
多人数対面教育を対象に「授業と学習(予習・復習)のサイクル形成」を統合的に支援

- 1) コンテンツ制作の前提なし  
 通常教材の利用、授業進行に伴い蓄積
- 2) 教務管理的な負担の軽減に配慮  
 成績評価の簡便さ、採点/提出の一括確認、出席確認、テスト一斉実施、自己採点
- 3) 基本機能の洗練と使い方の「工夫」重視  
 多機能化、自動化を避ける

## CEASの全学利用(関西大学)

このスクリーンショットは、関西大学のCEASポータルサイトのインターフェースを示しています。上部には「KANSAI UNIVERSITY 教と学びの連携室&CEAS」というロゴとナビゲーションメニューがあります。中央には「CEASログイン」と「連携」の大きなボタンがあり、下部には「お知らせ」のリストが掲載されています。また、左側には「文系学部・総合情報学部大学院」や「理工系学部大学院」などのリンクが並んでいます。





### 教えと学びのショーケース

**教えるショーケース**  
 教え方要約表  
 教育実践事例集

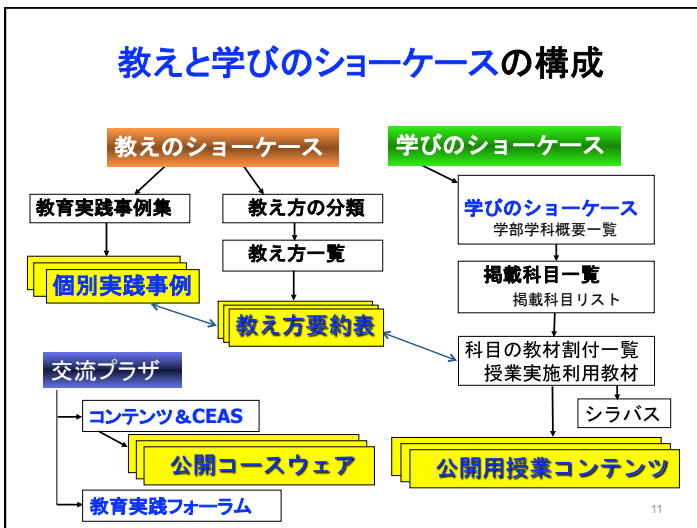
**学びのショーケース**  
 学びのショーケース

**交流プラザ**  
 コンテンツ&CEAS  
 コンテンツ共有/再利用

教育実践フォーラム  
 授業改善の広場

教員開設のサイト

現代GP成果報告書



### 教えるショーケース

**教育実践事例集**

**教え方要約表**

## 学びのショーケース

### 公開科目一覧ページ

### 公開用授業コンテンツ 割付表示ページ

## 交流プラザ

### コンテンツ&CEAS

### 教育実践フォーラム

## 公開用授業コンテンツ: 試作から公開まで

- 10月末まで..... インフォメーションシステム[授業支援]とCEASの利用状況データを手入
- 11月初~15日..... 試作科目の選定(約2週間)  
対象: 2007秋と2008春
- 11月中旬..... 試作開始。
- 11月下旬~12月中旬... 試作できたものから、その科目の担当者へ下記のアプローチ。  
\* 試作することへの許可願  
\* 公開の可否についての意思確認  
\* 試作状況の確認願
- 12月中旬、2009.1月下旬~3月..... コンテンツの編集作業。  
順次公開手続きをとる。  
\* コンテンツ利用許諾書の発送  
\* 公開の許諾を得る(文書/メール)
- 3月末まで..... 公開。  
公開後もコンテンツの差し替えや修正等の依頼に対応。

## コンテンツ公開の現状

- 1) 教育実践事例  
=> 「教へのショーケース」 実践事例集 28例を掲載  
「交流プラザ」  
教育実践フォーラム 会計教育、英語教育
- 2) 公開用授業コンテンツ  
2007年3月 71科目  
(83名の教員の217科目に対して、公開試作の許可依頼)  
2008年5月 81科目  
2009年6月 87科目

### 活用と課題

1. ショーケースの内容や表現
  - 教育実践事例集: 様式が不統一、検索できるように
  - 教え方要約表: 例を増やす、教育実践事例集との連携利用
  - 学びのショーケース:
    - 授業内容、科目内容の説明追加、検索できるように
    - 閲覧者が評価コメントをつけて活性化を図る
2. 教材を公開する教員を評価する仕組み
3. 公開作業の滞り
  - 事務職員による支援体制の整備が必要
  - データ加工の支援、公開作業の支援

### 活用と課題(続)

4. 教えと学びのショーケースで、公開することの意義?
  - 教員にとって役に立つ
    - 教材の共有・再利用から授業にフィードバックする。
    - <= 実現のための工夫
  - 公開したコースウェアに関心を持つ教員との意見交換
    - => FDの一環としての位置づけ
  - 学生にとって役に立つ <= 説明付加
  - 「訪問者数」を増やす努力の目的は?

